

# 仮面と化粧

仮面を付けると、多くの人は仮面そのものになれるといえます。鬼やひよっとこのお面を付けるのと普段の自分と違ったお面の表すものになりきることができません。歌舞伎役者は、演じる役のため、表情を誇張するために隈取りを施します。

化粧は、表面を飾り自己演出の一環で自分を装い、日常の仮面を非日常の仮面で開放する役割を負わずものでないでしょうか。男は、自分を酒で偽り、心に仮面を被せるか、それとも酒の非日常に悟られないよう静に外し、心をさらけ出すのでしょうか。



にマスクミに流れています。これらをザックリ括れば、関税を廃止し、一番利益が上がる方法です。しかしこれは自国民の人身売買、奴隷制度の復活と同じことです。会社を売って社員や国民を売買する制度と何処が違う

のでしょうか。個人でなく、会社を拉致するのと同じではないか。それで国民を守ることが出来るのか。結局パパを引くのは常に愚かで弱いもの、大衆です。宇宙から見れば地球に国境はありません。人類の平和と繁栄に、どんな制度がふさわしいのでしょうか。主導する国家は絶対的武力を背景にする国ではないですか。綺麗事を並べ「化粧」しても「暴力団国家」ではないでしょうか。

**人生は旅の途中**  
終着駅が目的ではない。旅の途中にどれだけ楽しいことをやり遂げ、出来たかだと思ふのです。どれだけ大きな自然から力を得たかだと思ふのです。大災害で全てを失った後、どん底でも星は輝いている。ただただ生きている。生きていくだけで、老若男女、それぞれが菩薩に見える。日の出はめっきり遅くなつた。人生は旅の途中。



(有)西川経営オフィスサービス  
中村会計  
事務所便り  
2011年9月22日 (木) NO. 230  
地域から明るい未来を作ろう

しかし酒も化粧も他者とのコミュニケーションを取り持つ役割もあるものです。社会も政治も、「仮面と化粧」の世界だと思ふことがある。そして、いつも民族間で最後に戦い、血を流し、精算の歴史を繰り返すのでしよう。

「FTA」は二国間以上の自由貿易協定。  
「EPA」は経済連携協定  
「TPP」は環太平洋戦略的経済協定等の略語が盛ん

実りの秋、日本の原風景です。収穫を祝う秋祭りが、各地の神社で幟が立ち、お祭りが行われています。鳥越の大日川沿いの野菜販売所に自転車で立ち寄ったところ、祭りで、作った笹寿司食べんけ」と、店の爺さんに勧められた。熊笹2枚にくるまった大きめで昔懐かしい、桜エビの乾物入り、

石川県白山麓地域(白山市)や能登地方では祭りに欠かせない料理です。おばあちゃんの手作りの寿司、つものです。料理でも作り手の何気ない優しさが決め手です。実に心を打

した。秋の味覚  
豊かな自然の中で味わう時、違ったおいしさがあると感じるので。酔加減がまた絶妙、ほのかな酢の甘みが、懐かしさをよみがえらせ、五感にしみ入る。一挙に幼小期の風景を思い出

